

【様式1】

団体名 糸満市立真壁小学校	連絡先 TEL：098-997-2412 Eメール：makabe@makabes.city.itoman.okinawa.jp
------------------	--

1 実践事項（タイトル、基本方針）

タイトル：児童一人一人が学ぶ力を身に付け「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む

- (1) 県の「学校教育における指導の努力点」として掲げている「確かな学力」の向上を踏まえ、「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上に焦点をあてた取組を推進する。
- (2) 沖縄県「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII～学びの質を高める授業改善・学校改善～」に基づき、本校の特色を生かした学力向上推進計画を立てる。
- (3) 学力向上マネジメントによる「目標管理型評価システム」を構築し、学力向上に係る学校課題の解決を図る取組を推進する。
- (4) 学力向上の総括目標・推進目標の達成に向けて、児童の実態を十分把握した上で具体的な取組を推進する。
- (5) 児童一人一人の「確かな学力」の向上を図るため、日常的な共通実践事項を一層充実させるとともに、校内研修を中心とした教師の指導力の向上・授業改善の取組を推進する。
- (6) こ小中との連携を通して地域教育資源を活用した授業の工夫改善に取り組む。

2 実践内容(学力向上推進委員会、全職員、調査研究部会、家庭・地域部会、PTA 部会)

- (1) 学力向上推進委員会・調査研究部会
 - ①学力向上推進計画の立案、推進にあたる。
 - ②全体研究会の計画、記録、各部会への連絡調整を行う。
 - ③実践報告書の原案作成及び各学年部のまとめを行う。
 - ④GIGA スクール導入で PC 端末(コムブック)の有効活用を図る。
 - ⑤学力向上推進の具体的な実践計画と評価計画を立てる。
 - ⑥日常的な具体的実践に取り組む。
 - ⑦資料の収集、整理を行う。
 - ⑧アンケートの作成、集計、分析を行う。
 - ⑨県 Web テストの結果入力。
 - ⑩実践を通しての評価を行い、反省をもとに取組を改善する。
 - ⑪実践資料(文書・写真)を整理、保存、報告のまとめをする。
- (2) 全職員
 - ①学力向上推進計画の決定、実践についての共通確認を行う。
 - ②具体的実践上の諸問題について協議し共通理解をする。
 - ③実践後の成果や課題、報告について協議・決定する。
- (3) 家庭・地域部会
 - ①各字単位での学事奨励会の実施。家庭学習強化月間の取組。
- (4) PTA 部会
 - ①P学力向上推進部を中心とした、学力向上の取組。(校内童話・お話大会の運営、漢字、算数検定の実施等)

3 説明資料 (写真)



読み聞かせ
(家庭・地域部会)



漢字検定
(PTA 部会)



コムブックの活用した授業
(全職員)



校内童話・お話大会
(PTA 部会)

4 成果

- (1) クロムブックを活用した授業を実践していくことで、日々の学習と関連付け児童の学習意欲を高めることができた。また、教師は授業改善を図る機会となり、小学校における指導の重点を明確にし、日頃の課題解決に繋げることができた。

5 課題

- (1) 全国学力・学習調査、学びの確かめの結果を通して読解力(国)・活用問題(算)において落ち込んでいることが分かった。これからは各教科、既習の内容や生活経験を発想させ、より実践的な授業改善し「問い」を出し授業実践していく。